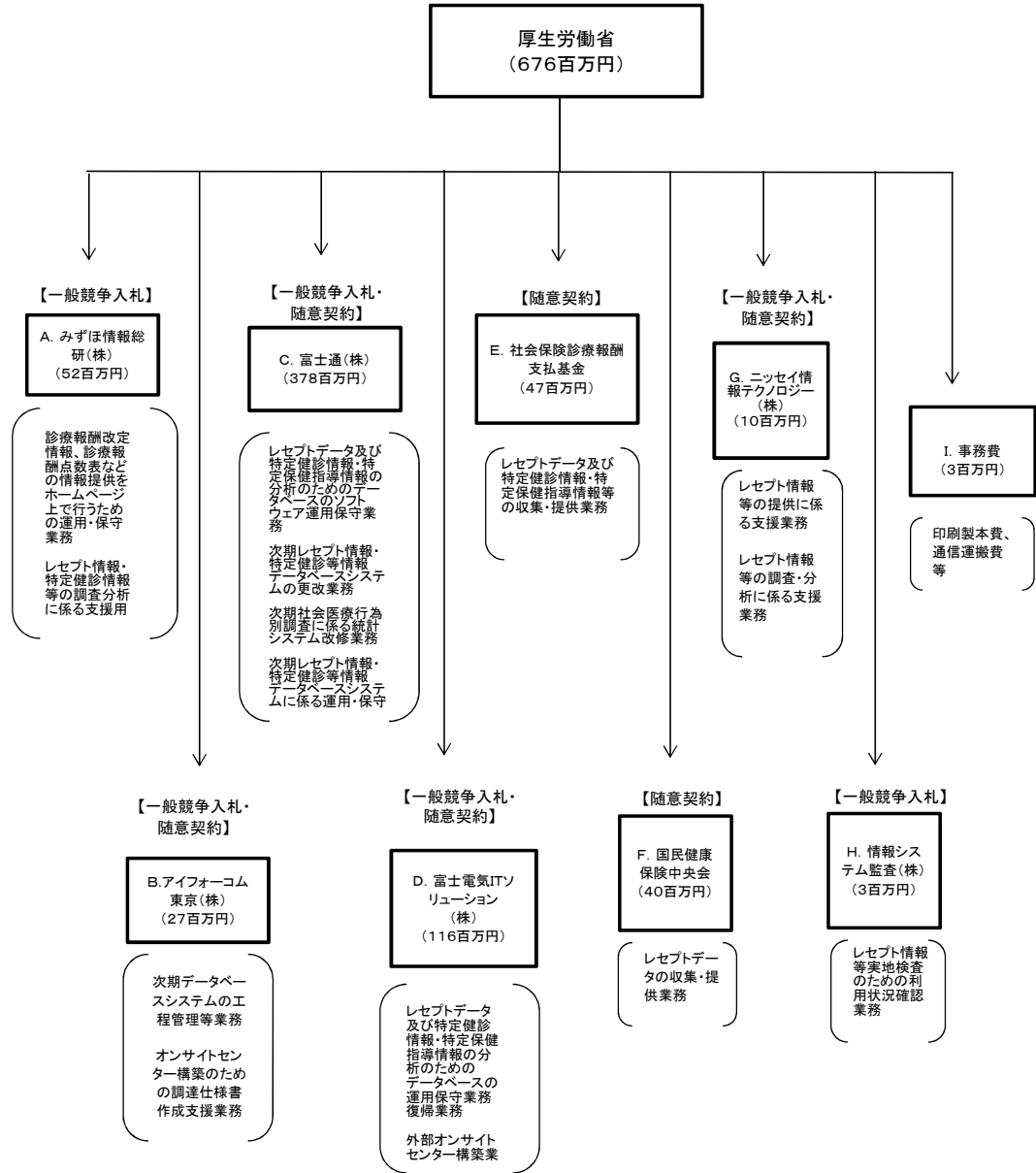


平成27年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	レセプト電算処理システムの推進に必要な経費			担当部局	保険局			作成責任者
事業開始年度	平成12年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	医療介護連携政策課保険システム高度化推進室			赤羽根 直樹
会計区分	一般会計			政策・施策名	I-9-1 適正かつ、安定的・効率的な医療保険制度を構築すること			
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	医療・健康・介護・福祉分野の情報化グランドデザイン			
主要政策・施策	IT戦略			主要経費	その他の事項経費			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	レセプトの電子化により、医療保険事務全体の効率化を図るとともに、レセプトデータ等の収集、分析、調査を行い、その分析・調査結果に基づいた計画を策定することで、医療費適正化、医療サービスの質の向上を図る。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	<p>・診療報酬請求については、平成21年11月の請求省令改正により、完全義務化から原則化とし紙媒体による請求も可能となったが、保険医療機関等、審査支払機関及び保険者を通じた電子レセプト請求の促進を進める。</p> <p>・「高齢者の医療の確保に関する法律」により、レセプト情報・特定健診等情報を収集し、医療費適正化計画の作成、実施及び評価のための調査及び分析を進める。また、正確なエビデンスに基づく施策の推進のために利用する行政機関や、医療サービスの質の向上等を目指した研究又は学術の発展に資する目的で行う研究に対して、当該情報の提供を行う。</p>							
実施方法	その他							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
		補正予算	430	571	961	663	1,013	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
		計	430	571	961	663	1,013	
	執行額	351	376	676				
	執行率(%)	82%	66%	70%				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度	
	レセプト情報等の収集をし、分析・調査に生かすことで、医療費適正化、医療サービスの質の向上を図る。	レセプト情報等収集件数	成果実績	万件	170,575	174,046	182,800	
			目標値	万件	169,349	171,383	179,267	188,284
			達成度	%	100%	100%	100%	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	レセプト情報等収集件数	活動実績	万件	170,575	174,046	182,800		
		当初見込み	万件	169,349	171,383	179,267	188,284	
単位当たりコスト	算出根拠	単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込		
	データベース運用関係経費執行額 /レセプト情報等収集件数	単位当たりコスト	円	0.2	0.2	0.4	-	
		計算式	百万円/万件	351/169,349	376/174,046	699/182,800	-	
平成27・28年度予算内訳(単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	診療報酬情報提供サービスの維持管理に必要な経費	100	38	「新しい日本のための優先課題推進枠」731 機器更新の終了による減				
	レセプト分析の体制整備経費等	455	344					
	医療保険分野における番号制度の利活用推進事業	108	459					
	レセプト情報・特定健診等情報データの利活用促進事業	-	122					
	訪問看護レセプトの電子化に向けた調査研究	-	50					
計	663	1,013						

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	医療の効率化、医療サービスの向上は、国民が広く求めるものである。また、医療費適正化計画の作成に係る情報の整理は国の責務である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	レセプトの電子化を推進し、その電子化された情報をすべて収集することは国でなければ実施できない。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	レセプトの電子化による医療の効率化を図ることは、効率的な医療の推進の観点から優先度は高い。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		×	レセプトデータの収集先が特定されること、収集したデータをシステムに格納する技術に著作権があること等により随意契約が多くなっているが、適宜、契約内容の見直しを図っている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	電子化されたレセプトデータを収集するのに、1件あたりのコストはごく少数である。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	レセプトの電子化の推進およびレセプト情報等の収集、分析に必要なものに限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	一部で契約額が予算額を大きく下回り、不用となっているが、実績に合わせた予算に適宜見直しを図っている。	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	一部のシステムを政府共通プラットフォームへ移行する準備を行い、運用経費の抑制を図っている。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	成果実績は成果目標に見合ったものになっている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	社会保険診療報酬支払基金及び国民健康保険中央会にとりまとめてデータを収集することで、各保険者と個別に契約するのに比べて、効率化を図っている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	レセプト請求の電子化率は着実に向上している。収集したデータは医療費適正化計画の策定等に活用されているほか、研究者等第三者へ提供を行っている。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	診療報酬請求について、平成21年11月に請求省令を改正し紙媒体による請求もかとなったが、平成23年度から歯科も含め診療報酬の請求方法を原則として電子請求としており、平成20年4月時点で46.6%の電子請求率が平成27年3月末現在で87.8%(施設数ベース)となった。平成27年度以降についても、保険医療機関等が電子レセプト請求を行うための環境整備のための支出は引き続き必要と考えている。			
	改善の方向性	高齢者の医療の確保に関する法律により、医療費適正化計画の作成、実施及び評価のための調査及び分析に必要なレセプト情報等を収集しており、平成27年3月末時点での累計件数は約9,372百万件となった。レセプトの電子化の普及が進むことでレセプトデータ等情報の件数が増加することが見込まれることから、より制度の高い調査・分析を行う事が可能となるため、当該事業への支出は引き続き必要と考えている。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
事業内容の一部改善	一部で随意契約や1社入札となっていることから、競争性確保のため、改善方法等を検討すること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
執行等改善	入札にあたっては、予定価格の見直しや、競争性の高い契約方式への移行を検討し、引き続き改善に務めることとする。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	285	平成23年度	259	平成24年度	224
平成25年度	257	平成26年度	269		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.みずほ情報総研(株)			E.社会保険診療報酬支払基金		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
保守経費	メンテナンスシステム保守費、情報提供システム保守運用経費等	43	情報提供費	レセプト及び特定健診データ抽出作業経費等	47
雑役務費	レセプト情報・特定健診情報等の調査分析に係る支援業務	9			
計		52	計		47
B.アイフォーコム東京(株)			F.国民健康保険中央会		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	次期データベースの工程管理等業務	26	情報提供費	レセプトデータ抽出作業等	40
雑役務費	調達仕様書作成支援	1			
計		27	計		40
C.富士通(株)			G. ニッセイ情報テクノロジー(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
改修業務	次期データベースの更改	235	雑役務費	レセプト情報等の提供に係る支援業務	5
改修業務	統計システムの改修	94	雑役務費	レセプト情報等調査・分析に係る支援業務	5
運用経費	データベース運用経費	31			
保守経費	システムハードウェア保守経費	14			
保守経費	ソフトウェア保守経費	4			
計		378	計		10
D.富士電機ITソリューション(株)			H.情報システム監査(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
運用保守経費	データベース運用、システムハードウェア保守経費	86	雑役務費	レセプト情報等の提供依頼申出者への実地検査のための利用状況確認業務	3
雑役務費	外部オンサイトセンター構築業務	30			
計		116	計		3

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	みずほ情報総研(株)	ホームページの運用・保守	43	1	99.7%

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	アイフォーコム東京(株)	次期データベースの工程管理等業務	26	3	57.6%
2	アイフォーコム東京(株)	調達仕様書作成支援	1	随意契約	-

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	富士通(株)	次期データベースシステムの更改	235	5	64.3%
2	富士通(株)	統計システムの改修	94	不落随契	-
3	富士通(株)	データベース運用経費	31	不落随契	-
4	富士通(株)	システムハードウェア保守経費	14	不落随契	-
5	富士通(株)	ソフトウェア保守経費	4	随意契約	-

D

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	富士電機ITソリューション(株)	データベース運用、ハードウェア保守経費	86	不落随契	-
2	富士電機ITソリューション(株)	外部オンサイトセンター構築業務	30	1	98.7%

E

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	社会保険診療報酬支払基金	レセプト及び特定健診データ抽出作業	47	随意契約	-

F

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国民健康保険中央会	レセプトデータ抽出作業	40	随意契約	-

G

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ニッセイ情報テクノロジー(株)	レセプト情報等の提供に係る支援業務	5	3	44.9%
2	ニッセイ情報テクノロジー(株)	レセプト情報等調査・分析に係る支援業務	5	随意契約	-

H

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	情報システム監査(株)	レセプト情報等実地検査のための利用状況確認業務	3	3	48.9%

支出先上位10社リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載

チェック

1

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	富士電機ITソリューション(株)	旧システム設置場所原状復帰業務	1	随意契約	-
2	(株)アンカーネットワークサー ビス	旧システム廃棄業務	1	随意契約	-
3	富士マイクロ(株)	電子媒体(CD-R)作成業務	0.5	随意契約	-
4	協新流通デベロッパー(株)	電子媒体(CD-R)発送業務	0.3	随意契約	-
5	(株)ワンビシアークाइズ	レセプトデータの保管及び運搬	0.2	随意契約	-
6	協新流通デベロッパー(株)	リーフレットの梱包発送	0.1	随意契約	-
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					